

## Ku バンドレーダーで観測した降水コアの特性 Characteristics of reflectivity cores observed by Ku-band radar

佐藤 英一<sup>1\*</sup>, 藤原忠誠<sup>1</sup>, 楠研一<sup>1</sup>  
Eiichi Sato<sup>1\*</sup>, FUJIWARA, Chusei<sup>1</sup>, KUSUNOKI, Kenichi<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 気象研究所

<sup>1</sup>Meteorological Research Institute

都市域における局地的大雨などの極端気象のメカニズム解明・予測のため、我々は2011年に東京都武蔵野市にKuバンドレーダーを展開した。本研究における我々のターゲットは上空の降水コアであり、それは降水コアの動きが積乱雲自身の動きに影響するはずだからである。

2012年9月1日は、地上天気図では目立った擾乱は解析されていないものの、下層の暖かく湿った空気や上空の寒冷低気圧の影響で、全国的に小規模な積乱雲が複数発生した。このような条件では、積乱雲の移動を予測することが難しい。本事例について、降水コアの高度や移動特性について示す。

キーワード: Ku バンドレーダー, 積乱雲, 降水コア

Keywords: Ku-band radar, cumulonimbus, reflectivity core